



## どこかにビューーン！

JR東日本のポイント「JREポイント」を集めると、「どこかにビューーン！」という特典と交換することができます。この特典、JR東日本の新幹線停車駅からランダムに選ばれた4つの駅のどこかに行けるという面白い企画です。

先日、試しにサイトで確認してみました。出発地を「新潟駅」にして、行きと帰りの日時を入力すると、候補駅として「上毛高原」「大宮」「東京」「佐久平」の4駅が表示されました。ポイントがそこまで溜まっていないので、実際には使用しなかったのですが、5000ポイントあれば、この4駅の中から、選ばれた駅まで往復チケットをもらうことができます。

駅ビルで買い物したり、Suicaを利用すれば、ポイントはどんどん貯まりますので、なかなかおすすめです。



「Eco列車でいこう！」～第175回～ 四国バースデイきっぷの旅。(後)

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行や、心が豊かになるような旅行を照会するコーナーです！)



四国バースデイきっぷの旅も2日目の夕方となった。

四万十川に沿って走るローカル線「予土(よど)線」の無人駅「家地川」で下車する。夕闇迫る山あいの道を10分歩くと、「家地川集落活動センター・けやき」が見えた。

廃校した小学校を改装した宿で、1泊素泊まり3500円と割安。部屋に入ると、ふわっと木材の良い香りがする。列車の乗り継ぎの間にスーパーで買ってきた「かつおのたたき」の夕食。「100年以上の歴史の中で、この学び舎でいくつもの物語があったんだろうな。」なんて、しみじみと考えながら、ビールと地酒を飲んで、よく眠った。

翌朝、始発のディーゼルカーに乗る。乗客はだれもいない。貸切だ。運転手の脇に新聞が積み、駅ごとに新聞屋さんが荷物をもらいに来ている。乗客1人と新聞の束を乗せて、列車は川沿いの集落を走る。

愛媛県に入り「宇和島」で乗り換える。南側の急斜面にあるミカン畑がたっぴりと太陽を浴びている。その先に青々とした「宇和海」が見える。なんと温暖でおだやかな風景だろう。

「伊予大洲」で下車。堂々とそびえる大洲城の周りに古い町並みを残す観光地で、「東京ラブストーリー」のロケで使われた郵便ポストがあった。

ここから観光列車「伊予灘ものがたり」に乗車。海を臨みながら、またビールを飲む。名産の栗焼酎のロックを追加すると、切子のグラスにたっぴり継がれる。気分が良い。

「松山」からはローカル私鉄「伊予鉄道」で港に行き、「興居(ごご)島」へ渡る。わずか10分の船旅で運賃は250円。島にある「小富士」に登り、瀬戸内海を眺めた。登山でカラダが温まり、汗をかく。再び港に戻ると冷たい海風を浴びた。

帰りの電車内で悪寒がして、体調がすぐれないままに新潟へ帰った。2日間で四国を一周する強行軍で、毎日痛飲するなど、少々やりすぎたようだ。今度はのんびりとした鈍行列車の旅でリベンジしたい。



家地川の宿。質素だが快適だった。



「伊予灘ものがたり」の車内で一杯。



興居島に渡り、小富士に登った。